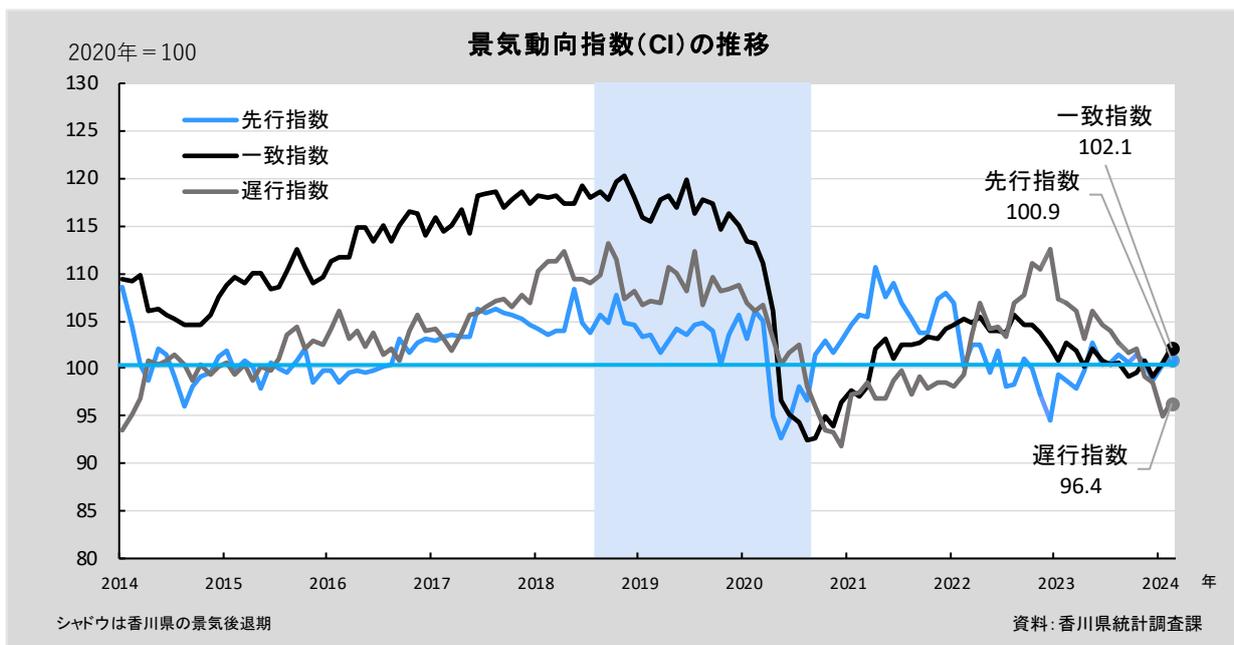


概況	景気は、持ち直している。
個人消費	持ち直しの動きが続いている。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直しの動きに足踏みがみられる。
生産活動	持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	持ち直しの動きに弱さがみられる。
貿易	輸出は増加、輸入は減少している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 2カ月連続上昇



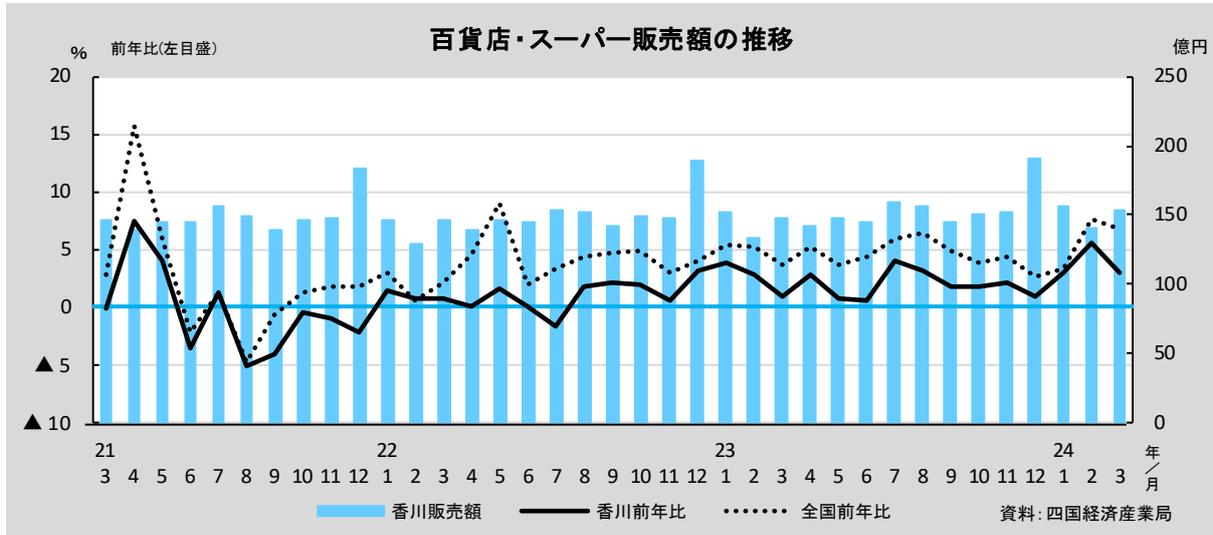
景気の現状をみると、2月のCI一致指数は102.1（前月比+1.4ポイント）と2カ月連続で上昇。CI先行指数は100.9（同+0.5ポイント）と2カ月連続で上昇。CI遅行指数は96.4（同+1.5ポイント）と4カ月ぶりに上昇。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、鉱工業生産指数、有効求人倍率等が上昇に寄与したことにより、前月から1.4ポイントの上昇となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	0.26	1 雇用保険受給者実人員	▲ 0.33	1 常用雇用指数	▲ 0.08
	2 乗用車新車登録台数	▲ 0.69	2 有効求人倍率	0.58	2 有効求職者数	0.46
	3 鉱工業在庫率指数	1.55	3 所定外労働時間指数	▲ 0.46	3 消費者物価指数	1.36
	4 生産財生産指数	▲ 0.61	4 鉱工業生産指数	0.74	4 家計消費支出	▲ 0.19
	5 新設住宅着工戸数	0.14	5 鉱工業出荷指数	0.55	5 鉱工業在庫指数	0.34
	6 金融機関貸出残高	▲ 0.26	6 建築着工床面積	▲ 0.09	6 法人事業税調定額	▲ 1.02
	7 消費者態度指数	0.29	7 百貨店・スーパー既存店販売額	0.45	7 第3次産業活動指数	0.74

●百貨店・スーパー販売額

20 カ月連続増加 ↑

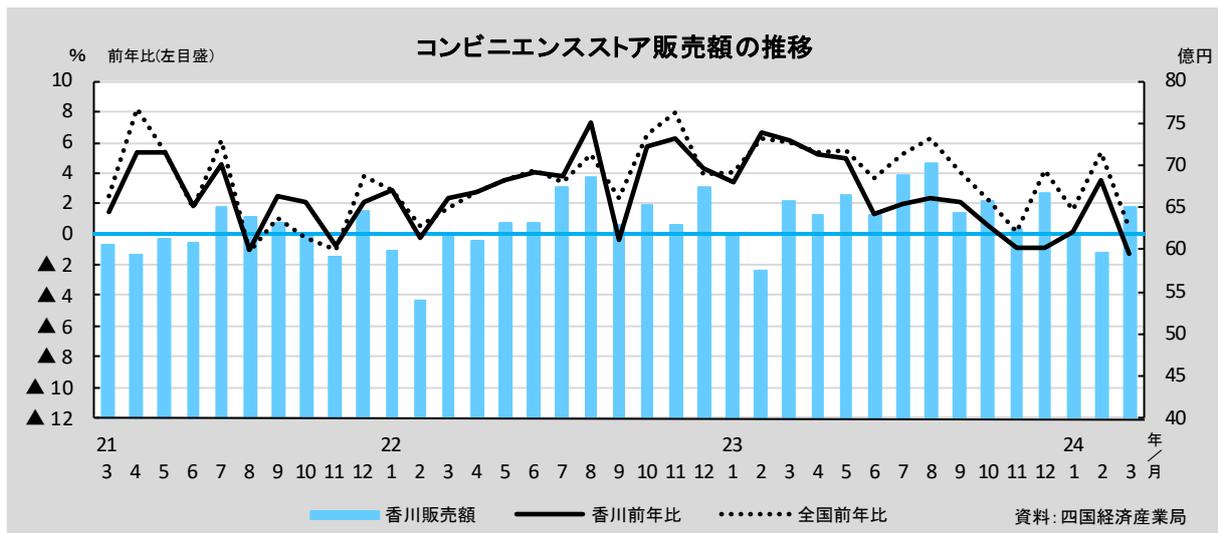


2024/3月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	100,186	74,554	1,120,445	1,626	4,742	67,799	158,827	492	1,528,671
前年同月比(%)	▲ 17.8	▲ 2.6	5.2	▲ 27.8	4.5	6.2	5.9	3.8	3.0

3月の百貨店・スーパー全店(83店)の販売額は152.9億円で、前年同月比+3.0%と20カ月連続で増加した。「飲食料品」は、生鮮野菜や鮮魚などが堅調に推移し同+5.2%、「家庭用品」も新生活関連商品に動きがみられ同+6.2%と好調だった。「衣料品」は春物衣料の動きが鈍く同▲17.8%となった。

●コンビニエンスストア販売額

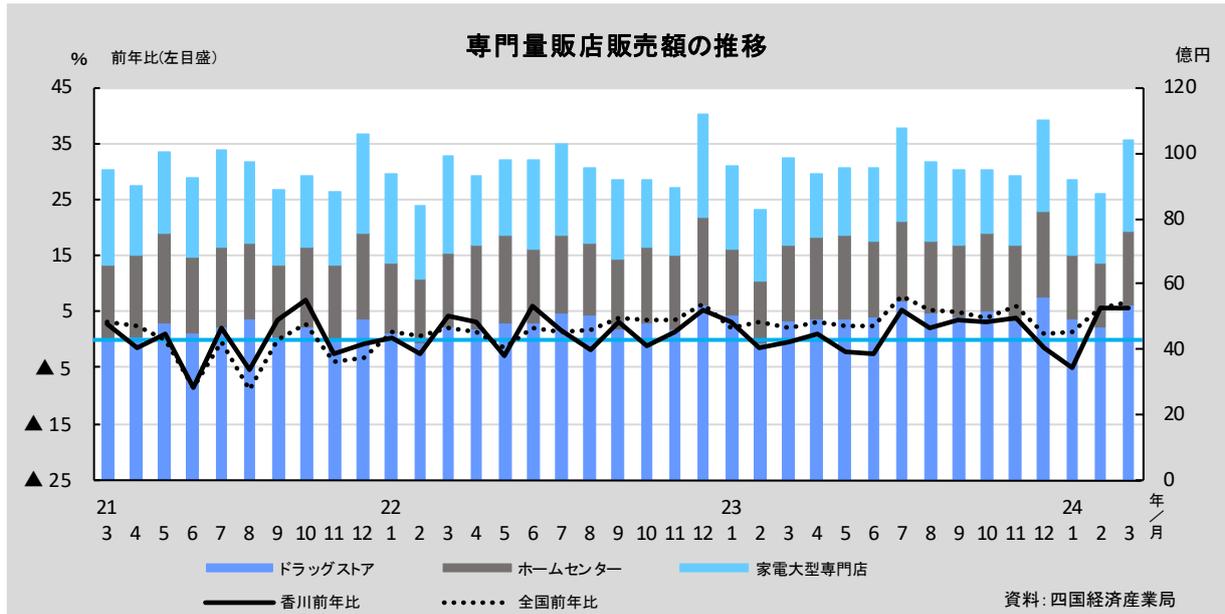
3カ月ぶり減少 ↓



3月のコンビニエンスストア全店(401店)の販売額は65.0億円で、前年同月比▲1.3%となった。前年より気温が低く飲料等の販売額が減少し、客数も伸び悩み、3カ月ぶりに減少した。

●専門量販店販売額

2カ月連続増加

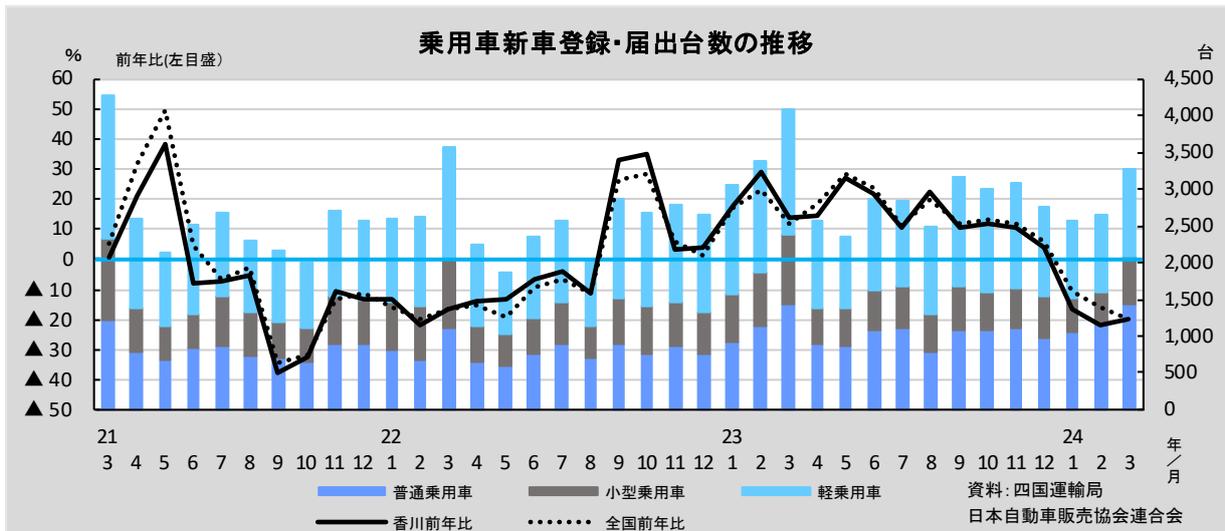


3月の専門量販店全店（218店）の販売額104.2億円で、前年同月比+5.7%と2カ月連続で増加した。

業態別にみると、家電大型専門店（28店）の販売額は、調理家電や通信家電が伸長し、28.0億円で前年同月比+3.6%となった。ドラッグストア（143店）の販売額は、食品が堅調に推移し、日用消耗品の動きも良く、53.5億円で同+9.9%となった。ホームセンター（47店）の販売額は、園芸・木材・建材などが低調で、22.7億円で同▲0.7%となった。

●乗用車新車販売台数

3カ月連続減少



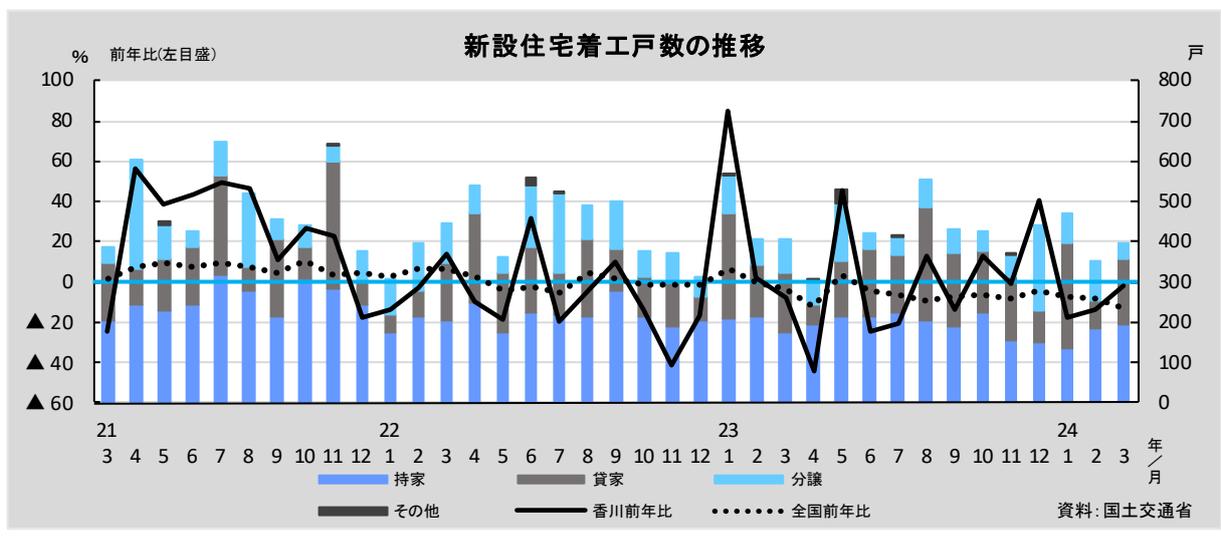
3月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は3,270台で、認証試験不正問題に伴う出荷停止が影響し、前年同月比▲20.0%と3カ月連続で減少した。

車種別にみると、普通乗用車は前年同月比▲1.0%、小型乗用車は同▲31.2%、軽乗用車は同▲29.8%となった。

住宅投資 低調に推移している

●新設住宅着工

3カ月連続減少 ↓

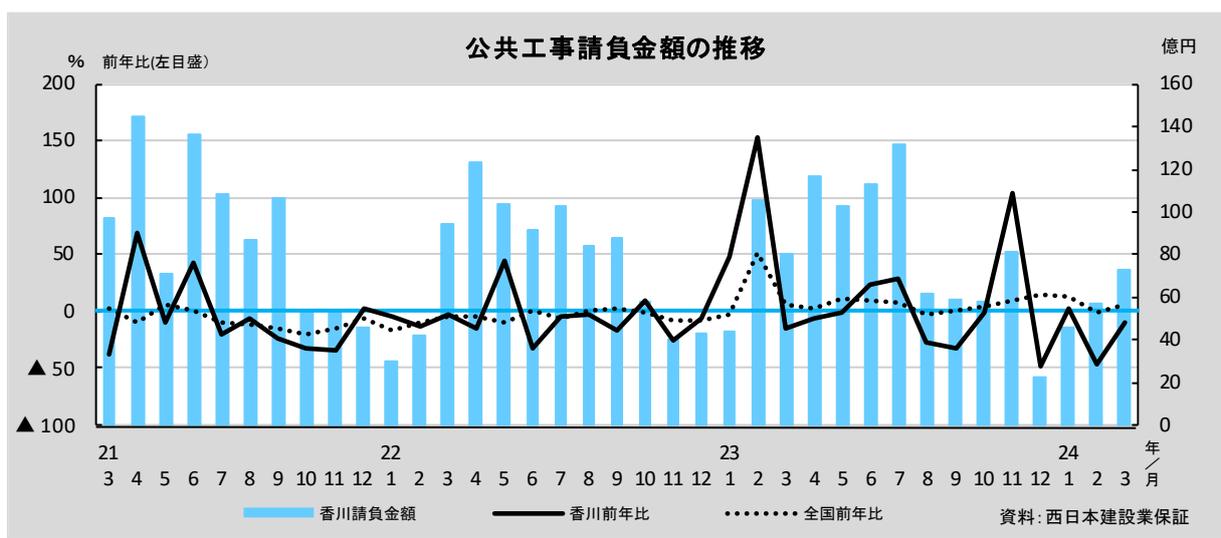


3月の新設住宅着工戸数は399戸で、前年同月比▲2.2%と3カ月連続で減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比+11.4%、**貸家**で同+9.6%、**分譲住宅**で同▲50.0%となった。

公共投資 持ち直しの動きに足踏みがみられる

●公共工事請負金額

2カ月連続減少 ↓



3月の公共工事請負金額は72.8億円で、前年同月比▲9.2%と2カ月連続で減少した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比▲63.3%、**県**で同+46.2%、**市町**で同▲61.1%となった。

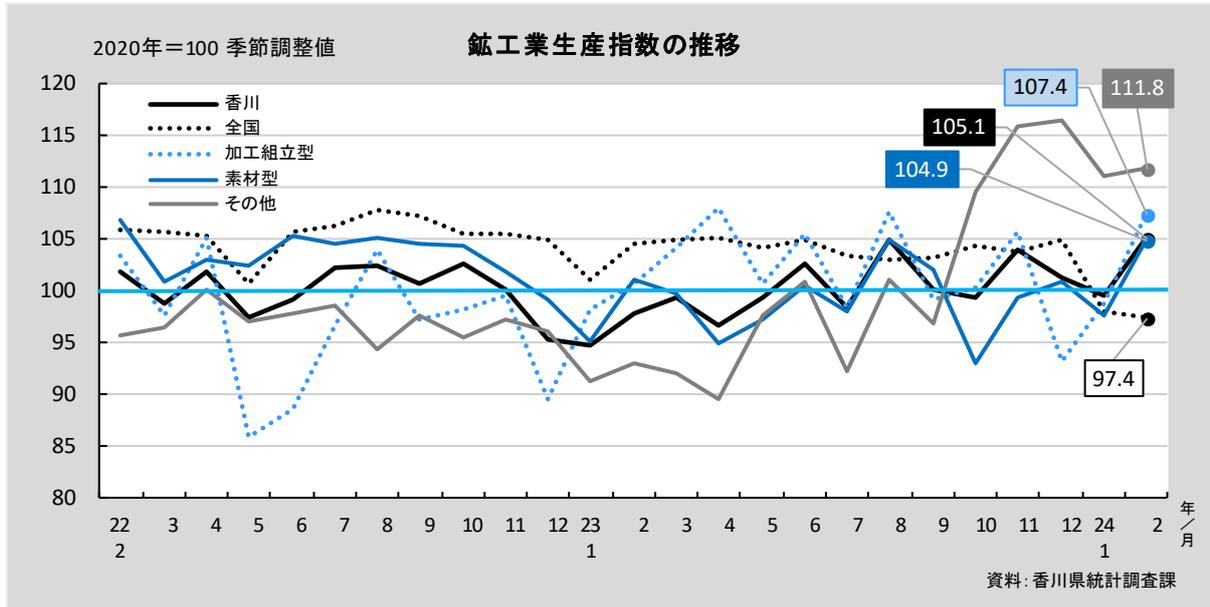
2023年度(2023.4月～2024.3月)の累計では前年同期比4.3%減少している。

生産活動

持ち直しの動きがみられる

● 鉱工業生産指数

3 カ月ぶり上昇 ↑



2月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は105.1（前月99.5）となり、3カ月ぶりに上昇した。

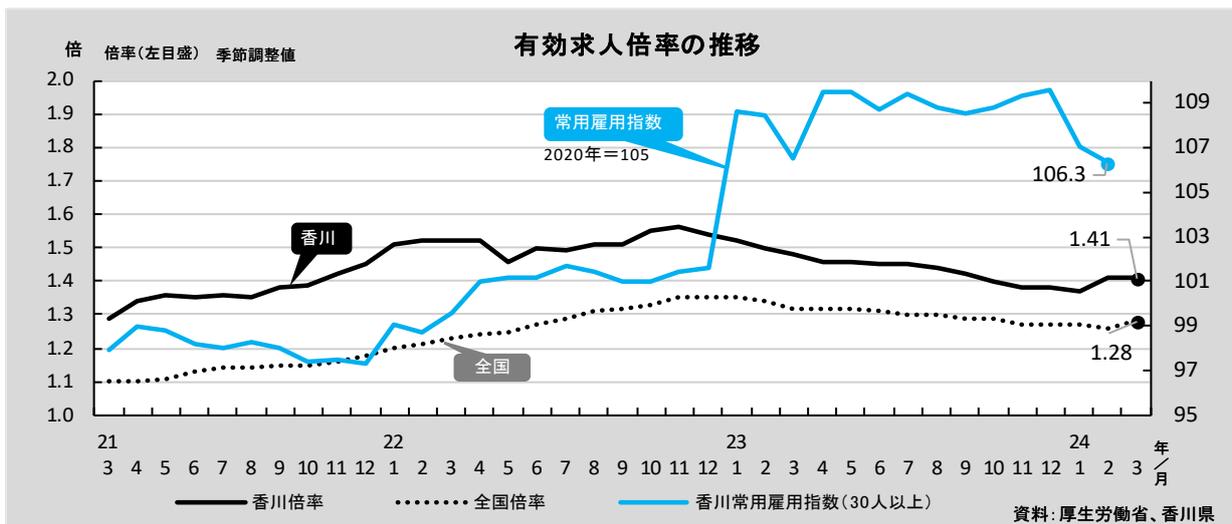
業種別では加工組立型の電気機械工業（開閉制御装置など）は前月比+20.8%、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は+9.0%と上昇した。一方、その他業種のその他工業（団扇など）は同▲15.6%と低下した。

雇用情勢

持ち直しの動きに弱さがみられる

● 有効求人倍率

前月と同水準 →



3月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.41倍（全国12位）で前月と同水準となった。

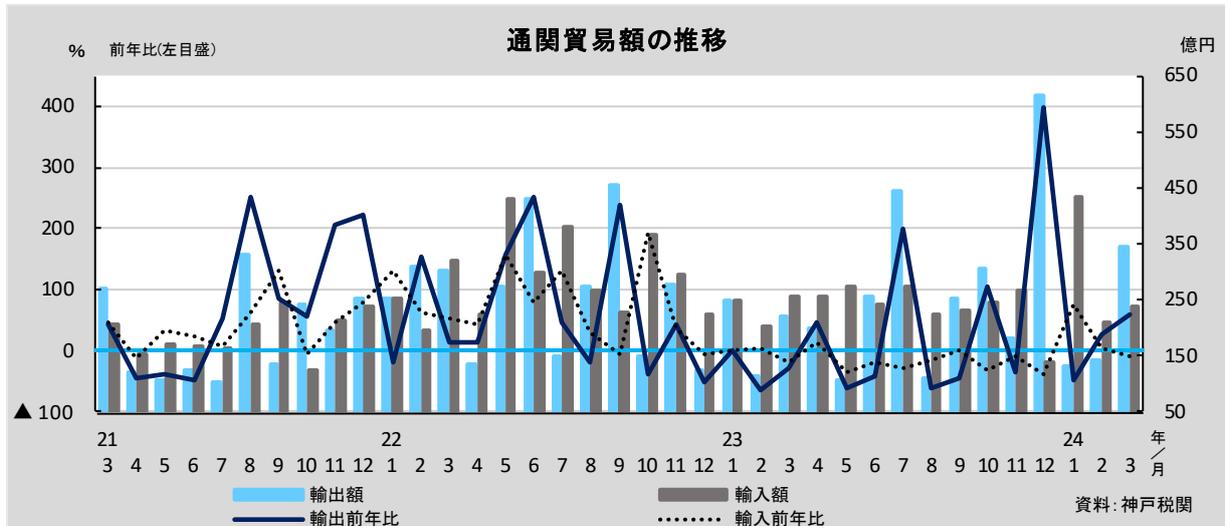
新規求人（原数値：前年同月比）は、製造業、建設業、サービス業（他に分類されないもの）、宿泊業・飲食サービス業等で減少となり、全体で▲7.9%と2カ月ぶりに減少した。

2月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、106.3となり、前年同月比は2カ月連続で減少した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業従事者	2.31
事務従事者	0.65
販売従事者	2.66
サービス職業従事者	3.07
生産工程従事者	2.32
輸送・機械運転従事者	2.00
建設・探掘従事者	5.82
運搬・清掃・包装等従事者	1.19

貿易

輸出は増加、輸入は減少している



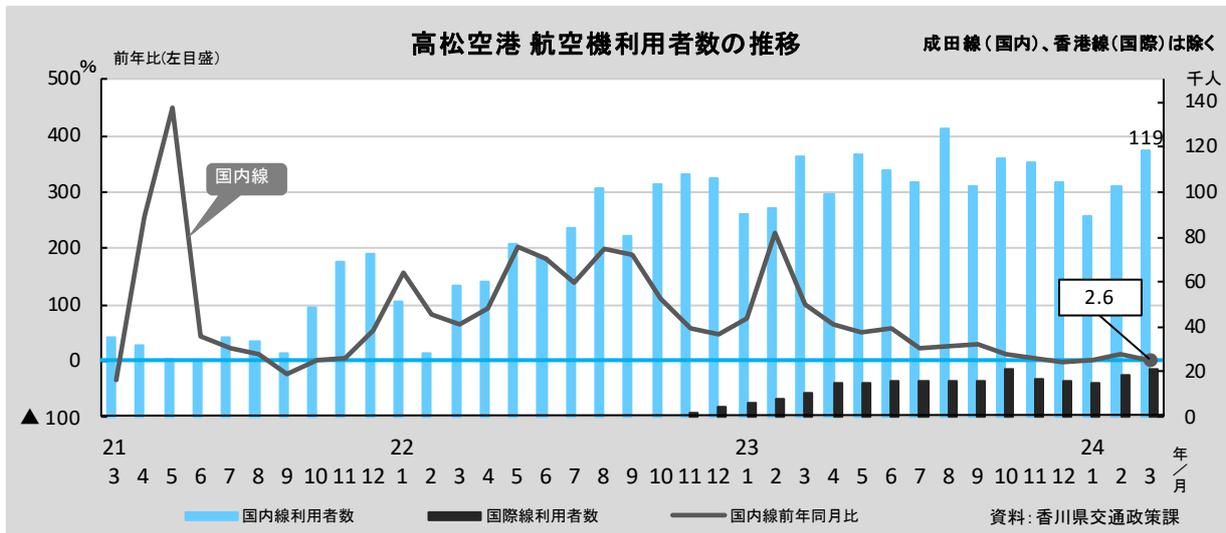
3月の輸出額は前年同月比+58.6%の346.6億円、輸入額は同▲8.0%の236.9億円となり、差し引き109.7億円の出超となっている。

輸出は、前年同月ゼロだったタンカー輸出額が131億円となった。輸入は、液化石油ガス輸入額が前年同月比▲62.2%の8億円となった。

交通

国内線は2カ月連続増加、国際線は好調

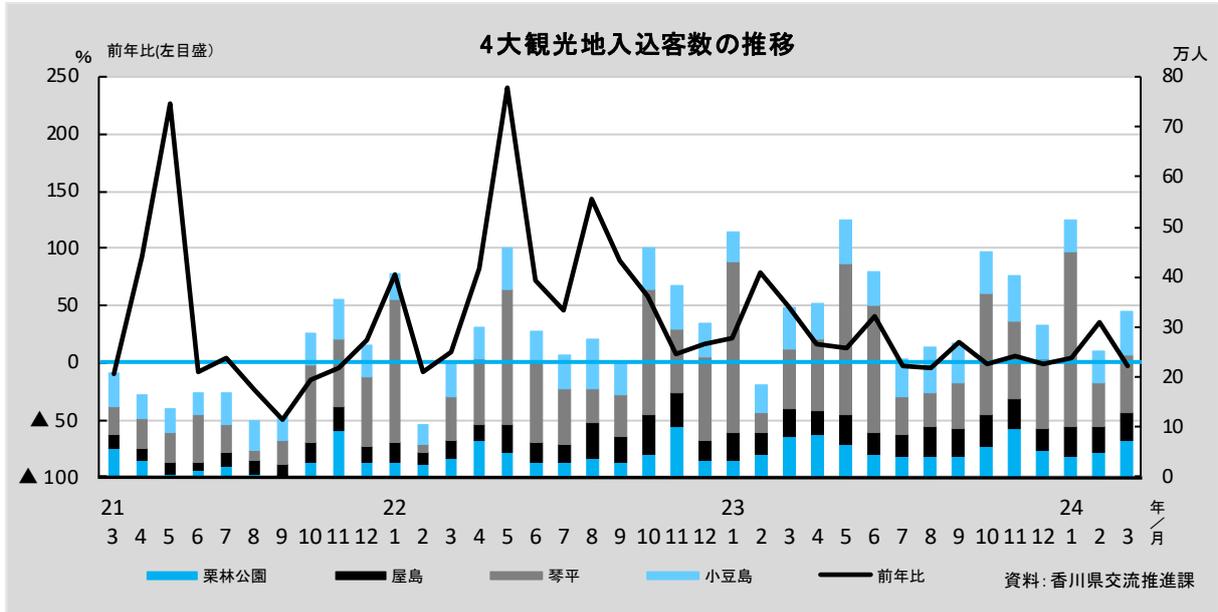
●高松空港旅客輸送実績



3月の航空機利用者数は、国内線（羽田・那覇線）が118,560人（前年同月比+2.6%）となり、2カ月連続で増加しました。羽田線は107,378人（同+1.2%）、那覇線は11,182人（同+17.8%）となった。

国際線は、ソウル線12,020人、台北線9,001人で合計21,021人（前年同月比+99.2%）と増加を維持している。

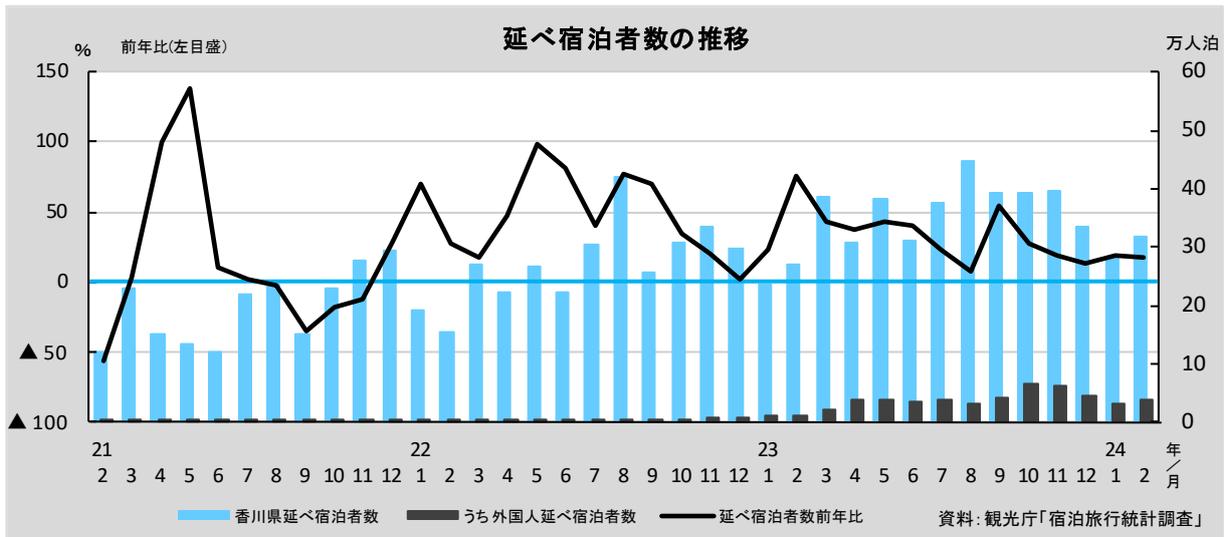
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園		屋島		琴平		小豆島		合計	
3月(人)	前年同月比	71,353	▲11.4%	58,253	4.1%	115,000	▲2.5%	84,808	2.4%	329,414	▲2.3%
1~3月累計(人)		163,599	2.1%	168,847	9.4%	551,000	10.0%	213,173	6.8%	1,096,619	8.0%

3月の主要観光地の入込客数は、前年同月比▲2.3%と3カ月ぶりに減少した。屋島は前年同月比+4.1%、小豆島は同+2.4%と増加したが、栗林公園は同▲11.4%、琴平は同▲2.5%と減少した。1~3月の累計では前年同期比+8.0となった。

●延べ宿泊者数



2月の延べ宿泊者数は317,260人で、前年同月比+17.9%と27カ月連続で増加した。うち、外国人延べ宿泊者数37,530人となり、前年同月比+214.8%と19カ月連続で増加した。